

臨床研究者による活用を目指した 臨床研究技能と研究公正の 統合学修の実用化

2025年

1/25 **土** 10時00分～
13時00分(開場:9時30分)

会場 コンファレンススクエア エムプラス ミドル1+2
(三菱ビル10階/JR東京駅直結、丸の内南口より徒歩2分)

定員 会場40名、Web50名

開催方式 Web(Microsoft Teams)と会場でのハイブリット開催

参加方法 右のQRコードよりお申し込みください

主催 兵庫医科大学 臨床疫学



コメンテータ

菱山 豊 AMED研究公正高度化モデル開発支援事業
プログラム・スーパーバイザー (PS)
順天堂大学 革新的医療技術開発研究センター
特任教授

植田 真一郎 AMED研究公正高度化モデル開発支援事業
研究開発分担者
琉球大学 大学院医学研究科 臨床薬理学 教授

松井 邦彦 AMED研究公正高度化モデル開発支援事業
研究開発分担者
熊本大学病院 総合診療科 教授

プログラム

- ・ 事業概要
- ・ モジュール型学修システムの紹介
- ・ カリキュラム化について
- ・ ワークショップや学会でのトライアルと
利用者の声
- ・ 今後の一般化へ向けて

研究開発代表者

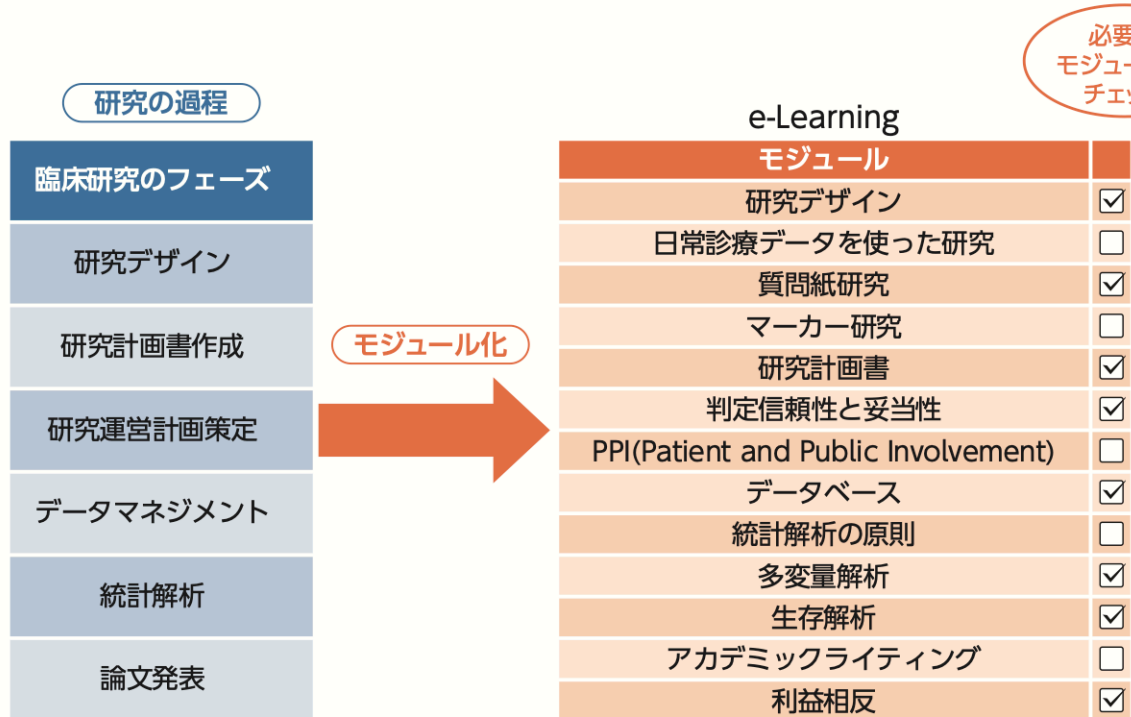
森本 剛
兵庫医科大学 臨床疫学 教授

お問い合わせ先

兵庫医科大学 臨床疫学
Tel : 0798-45-6879 / Mail : resws@hyo-med.ac.jp

研究開発の概要

研究公正・倫理教育には様々な課題があります。我々は、臨床研究の過程に沿った、研究技能と研究公正・倫理を同時に自発的に学ぶことのできるモジュール型学修システムを開発しました。このシステムを軸とした研究公正教育カリキュラムを提案します。



カリキュラム案

大項目	具体的な行動目標
社会における研究行為の責務	研究に関わる法令等を理解する
	公正な研究を行う
	患者・一般市民の参画に努める
研究計画立案	適切な研究デザインを作成する
	研究の妥当性を理解する
	人を対象とする研究において守るべきものを理解する
	安全への配慮を行う
	利益相反について理解し、適切な対応を行う
研究の実施	インフォームド・コンセントについて理解し、適切に実施する
	個人情報保護について理解し、適切に実施する
	データ収集・管理を適切に行う
	研究結果を正しく解釈する
	バイアスについて理解する
	研究不正行為について理解する
	好ましくない研究行為を回避する
	守秘義務を理解し徹底する
研究成果の発表	研究発表の重要性を理解する
	不適切な発表について理解する
研究の質の向上	研究不正防止に関する取組みについて理解する
	研究倫理教育の重要性について理解する